

総説：pMDI と DPI による長期管理薬の吸入方法

田村 弦

仙台気道研究所

要旨：吸入療法は気道疾患の重要で基本的な治療法にも関わらず、吸入方法に関する科学的な解析がほとんど行われておらず、ガイドラインにも明確な記述は存在しない。これまで解析した定量噴霧吸入器のエアロゾル化率や粒度分布、エアロゾル噴霧速度、またドライパウダー吸入器のエアロゾル化率や粒度分布、吸気抵抗の結果から、標準的な吸入方法として、『ゆっくりと深く息を吐き「肺活量(L)の秒数を目標」に深く息を吸い、数秒間息止めをする』こと、すなわち 1L/sec の吸気流量を目標に吸入を行うことを提案する。

キーワード：吸入ステロイド薬 (inhaled corticosteroid : ICS)、  
長時間作用性  $\beta_2$  刺激薬 (long-acting  $\beta_2$  agonist : LABA)、  
長時間作用性抗コリン薬 (long-acting muscarinic antagonist : LAMA)、  
定量噴霧吸入器 (pressurized metered-dose inhaler : pMDI)、  
ドライパウダー吸入器 (dry powder inhaler : DPI)

短縮タイトル：長期管理薬の吸入方法